

強者の戦略

こんにちは、日本史の岡上です。2014年も残すところ1ヶ月となりました。受験生の皆さんはいよいよ総仕上げの時期に入ってきましたね。まずはセンター試験に向けて、全ての教科・科目で結果につながる努力をしてもらいたいと思います。

一方、高1生・高2生の皆さんはこの時期、受験に向けて自分の理想と現実に思いをめぐらせてもらいたいと思います。「来年（再来年）になったら受験生」ではなく、「受験に対して真剣に取り組みだしたら受験生」です。目標を定めること、決断することには勇気が要りますが、少しでも早く受験生としての一步を踏み出して、最高の結果につながるようになっていきたいですね。

さて、第24回となる今回は2014年の東大日本史の第3問を取り上げてお話をしていきたいと思います。さあ、1週間、しっかり問題を考えてみてください。

【2014年度 東京大学 文科前期 第3問】

次の(1)～(4)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。

- (1) 1864年、禁門の変で敗れた長州藩を朝敵として追討することが決まると、幕府は征討軍の編成に着手し、従軍する諸大名・旗本に対して、定め通り、各自の知行高に応じた数の人馬や兵器を用意することを命じた。
- (2) 幕府や諸藩は、武器・弾薬や兵糧などを運搬するため、領内の村々に、村高に応じた数の人夫を出すことを命じた。こうした人夫の徴発は村々の負担となった。
- (3) 幕府や諸藩は、長州征討に派遣する軍勢のため、大量の兵糧米を集めた。さらに、商人による米の買い占めなどもあって、米価が高騰した。
- (4) 長州藩は、いったん屈伏したが、藩論を転換して再び幕府に抵抗した。このため幕府は、1865年、長州藩を再度征討することに決定した。しかし、長州藩と結んだ薩摩藩が幕府の命令に従わなかっただけでなく、他の藩の多くも出兵には消極的となっていた。

設 問

A 長州征討に際し、どのような人々が、どのように動員されたのか。2行以内で述べなさい。

B 再度の長州征討に際し、多くの藩が出兵に消極的となった理由としてどのようなことが考えられるか。諸藩と民衆の関係に注目して、3行以内で述べなさい。